

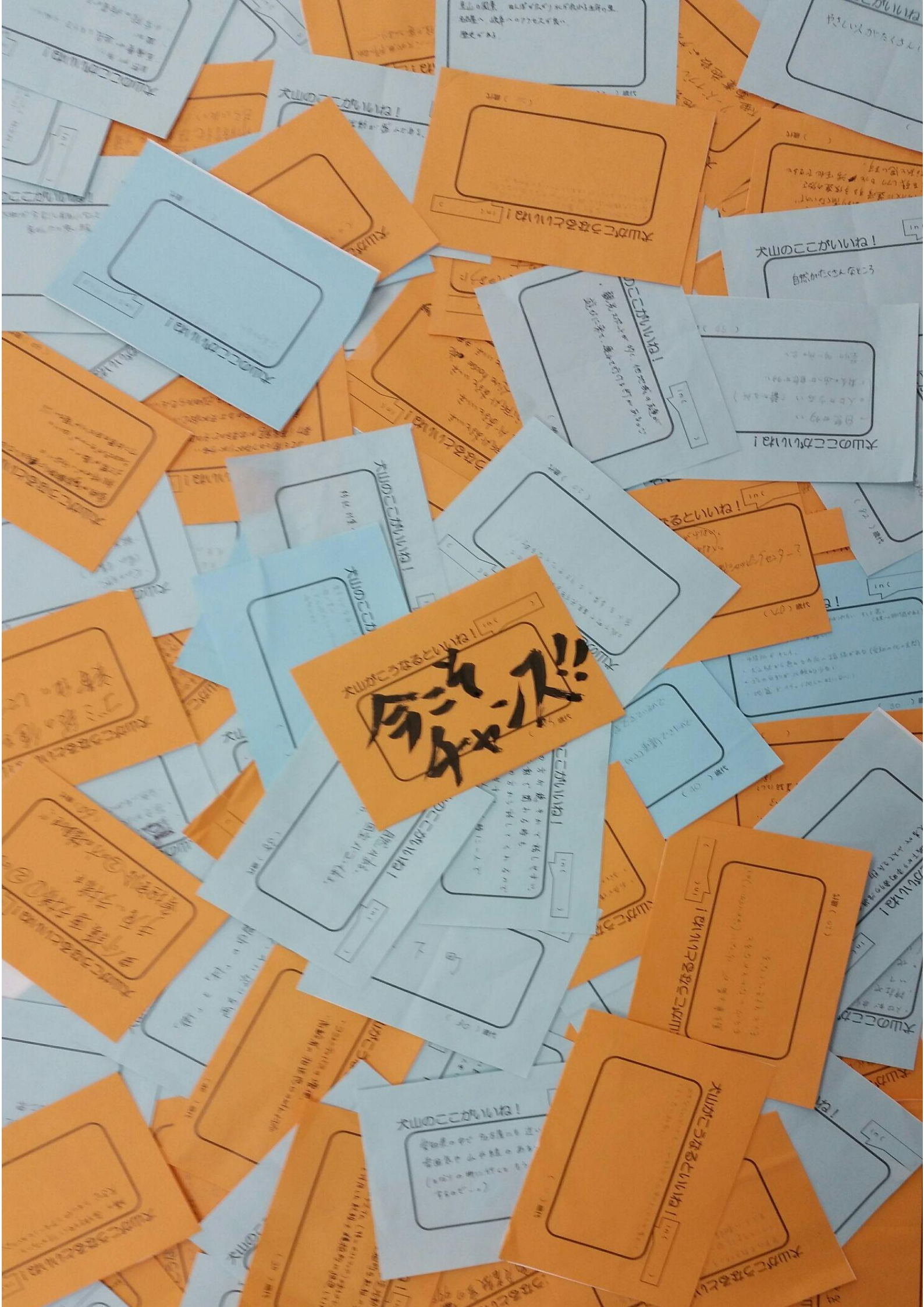


# いいね! いぬやま総合戦略

平成 28 年 3 月

犬山市





敬天

犬山のここがいいね!  
自然がたまごころ

犬山のここがいいね!  
愛知の自然がたまごころ  
犬山がこうなるといいな!

犬山がこうなるといいな!  
自然がたまごころ

犬山がこうなるといいな!  
自然がたまごころ

## 市民のみなさんへのメッセージ

産業が栄え 幸福が実感できる犬山へ

“今こそチャンス！！”

人口減少、経済縮小・・・社会が変化する時こそチャンスです。

チャンスをつかむことができるかどうかは、私たちの思考によって決まります。

豊富な地域資源、恵まれた地勢と交通アクセス、元気な市民・・・見渡せば犬山は優れた素材がいっぱいです。

まちの素材を活かし変化に立ち向かう、知恵と工夫で新たな価値を創造する・・・そうしたことへ思いを巡らせると、こんなに楽しくワクワクすることはありません。この高揚感を行動につなげ、前進あるのみです。



犬山市長 山田拓郎

この総合戦略は、思いをカタチにするための設計図です。

カタチを組み立てて効果を高めるためには、地域社会全体をひとつのチームと捉え、そのチームプレーが重要です。

チームのメンバー同士では、犬山創生を目指し、“今こそチャンス！！”との思いで、楽しくワクワクするこの高揚感を共有していきたいものです。

犬山創生は、ここに書いてあるからやる、書いてないからやらない、というものでなく、永遠に終わることのない課題です。

この永遠の課題と向き合い、さあ、“今こそチャンス！！”

チーム犬山が始動します。



序章 はじめに

P 1

1 なぜ総合戦略が必要なのか？ 背景と目的

1

2 位置付けと計画期間

人口ビジョン	2060年
総合戦略	平成27年度～平成31年度

1

3 計画づくりから市民が参画

2

みなさんの思いを形にしていく・・・

- アンケート調査  
(若年者調査、転入出者、老人クラブ)
- インターネットアンケート
- 犬山の未来を考え隊
- 訪問型アプローチ
- いいね! いぬやま総合戦略THE・市民会議
- いいね! いぬやま総合戦略推進会議

4 策定のヒントがここにある! 犬山市の特徴と課題の整理

3

計画策定のヒントがあります・・・

- (1) まちの状況
- (2) ひとの状況
- (3) しごとの状況

1章 人口ビジョン

P 5

1 将来人口の目標をどこに置くのか？ 人口ビジョン

5

将来人口を設定します・・・

2060年人口ビジョン **61,000人** を堅持します

出生率の向上

移動率の改善

交流人口(滞在人口)の拡大

● 目標人口61,000人達成のために何が必要なのか？

5

● 61,000人を達成すると何が変わるのか？

6

● 人口減少を補うことが必要ではないか？

6



## 2章 いいね！いぬやま総合戦略

P 7

## 1 総合戦略の基本的な考え方

7

人口減少を食い止め、経済縮小を改善するために

- 新しい価値の創造
- 地域資源をフル活用
- チャレンジと突破
- 人づくりを強く意識

## 2 目指す方向性と達成のために必要な目標

8

総合戦略の方向性と目標を定める

“豊かさを実感できるまち”

“豊かさを実感できるまち”の達成に必要な目標

3つの「まち」の実現で「犬山をもっと好き」になる！

暮らしたい  
まち活躍したい  
まち訪れたい  
まち

## 3 戦略の方向性と基本目標及び目標達成のための重点事業

9

この5年間で最優先に取り組む目標と重点事業

## ●基本目標

気持ちいい住環境

“暮らしたいまち”になるための「10」の重点事業

11

## ●基本目標

居場所と出番

“活躍したいまち”になるための「9」の重点事業

17

## ●基本目標

人の交流

“訪れたいまち”になるための「3」の重点事業

23

## ● その他策定に関する事項

29

- 特集1 “犬山の未来を考え隊”の取り組みについて
- 特集2 いいね！いぬやま総合戦略THE・市民会議について
- 戦略の推進は市民と行政が一緒になって進めます
- 計画策定の周知
- 用語解説

# 序章 はじめに

## 1 なぜ総合戦略が必要なのか？ 背景と目的

日本の人口は平成 21 年(2009 年)をピークに減少局面に入っており、人口構成も大きく変化しています。犬山市においても、平成 21 年をピークに、人口は減少傾向に転じ、若年世代の流出、晩婚化、晩産化の進展に伴う出生率の低下も見られます。地域の経済も縮小傾向です。このまま何も手を打たなければ、将来の犬山を支える子どもたちに安心できる未来を残すことができません。

このため、今後も不安のない、安定した市民の「暮らし」を守り、市全体に活力があり自立したまちを維持していくため、「いいね！いぬやま総合戦略(人口ビジョン・総合戦略)」を策定しました。

### (犬山市の現状)

- 人口は減少傾向にあり、少子高齢化が進展している
- 経済規模及び財政規模が縮小していく社会情勢に的確に対応し、活力ある犬山市を維持する必要がある

現状打開のため「いいね！いぬやま総合戦略」を策定します

## 2 位置付けと計画期間

「いいね！いぬやま総合戦略」は、上記の状況を改善することに特化した計画です。

国と愛知県の総合戦略を踏まえ、目指すべき人口の目標である「人口ビジョン」と人口減少の克服や地方創生に資する戦略を取りまとめた「総合戦略」で構成します。

市の最上位計画であり全体計画である「第5次犬山市総合計画」を始め、各個別計画との整合を図りながら施策を進めます。計画期間は次のとおりとします。

人口ビジョン	2060 年
総合戦略	平成 27 年度～平成 31 年度



### 3 計画づくりから市民が参画

人口ビジョン及び総合戦略の策定にあたり、幅広い意見・提案をいただきました。

これは、完成した後も市民・行政が一緒になって「戦略」を実践していきたい！という思いがあり、策定の段階からあらゆる機会を設け、関わりを持っていただいたものです。

具体的には、「産学官金労言」など幅広い分野からの参画による「いいね！いぬやま総合戦略推進会議」、市内外住民に対するアンケート調査、転入出者窓口アンケート、若い市民と職員によるワーキンググループ「犬山の未来を考え隊」、企業・学校・子育てサークル・老人クラブ・地域の祭りなど、様々な場所に出かけグループインタビューなどにより意見を募った「訪問型アプローチ」、幅広い市民の参画によるワークショップ「いいね！いぬやま総合戦略THE・市民会議」を実施。パブリックコメントも行い、本当にたくさんの方から幅広いご意見・ご提案をいただき、完成に至りました。

#### みなさんの思い

- アンケート調査  
(若年者調査、転入出者、老人クラブ)
- インターネットアンケート

#### みなさんの意見・提案

- 犬山の未来を考え隊
- 訪問型アプローチ
- いいね！いぬやま総合戦略THE・市民会議
- パブリックコメント

#### 外部組織からの提言

- いいね！いぬやま総合戦略推進会議

みなさんから幅広い意見・提案を集め、課題を見つけ・共有し、今、必要な対策(目指す方向性と実施する事業)を考えました



## 4 策定のヒントがここにある！ 犬山市の特徴と課題の整理

これまで各所で実施した訪問型アプローチでのグループインタビュー、市民アンケート、各種統計情報、いいね！いぬやま総合戦略推進会議などで丁寧を重ねてきた議論をもとに、犬山市の状況を整理したところ、「特徴」と「課題」がはっきりと浮かび上がりました。これは戦略策定のための重要なヒントです！

### (1) まちの状況

#### ● 誇れるものは「伝統文化」「地域の祭り」「豊かな自然」「城（城下町）」

- ◆ 各種意向調査結果から、特に「豊かな自然」と「城」に対する市民の思いは強く見られます。
- ◆ 伝統文化や自然、地域の祭りなど固有の資源を郷土の誇りとして大切に守り、愛着を深めていくことが大切です。
- ◆ また、市民一人ひとりがその魅力をおもてなしの心で発信し、市外から訪れる人とのふれあいと交流を深めることが重要です。

#### ● 「地域のつながり」「人の優しさ」を実感できる

- ◆ 推進会議やグループインタビューなどでは、地域コミュニティやボランティアなどの活動が活発に行われており、市民同士のふれあいや市民と地域のつながりなど、人の優しさを実感できるまちであるとの声も多く聞かれます。

#### ● 地域内の融和を求める声も

- ◆ 一方で、従前からの居住者と新たな移住者の融和が課題という声もあり、新しく来た人を受け入れる開放的な風土の形成が求められます。



#### ● 観光客数は順調に増加傾向にあるが・・・

- ◆ 平成 26 年に犬山城年間登閣者数が 50 万人に達し、過去最高を記録しました。一方、観光の恩恵が市域全体に行き渡っておらず、飲食・宿泊・小売りに加え、農業を始め様々な産業分野への面的な拡がりが必要です。
- ◆ 加えて、観光地としてのブランド力を市全体で高めることにより、「通過点」ではなく「目的地」として選ばれ、宿泊者数増や、インバウンド需要などにもつなげていくことが求められています。

#### ● インフラの整備も重要

- ◆ 各種調査では「地震に強く安全なまち」と評価する意見がある一方で、災害に備えた市民への啓発機会及び地域での防災活動を求める声に加えて、街路灯の設置や歩行者が安全に利用できる道路環境の整備など、安全・安心のまちづくりをさらに進めることを求める声も聞かれます。
- ◆ 交通渋滞による移動上の不便さを訴える声や、子育て世代・学生からは「公園が憩いの場となるといい」という声も聞かれ、快適な生活を支えるインフラの整備が期待されています。

#### ● 犬山の魅力や情報を効果的に発信することが必要

- ◆ 観光面での魅力を様々なメディアを通じて積極的にPRするだけでなく、犬山の「住むまち」としての魅力を外へ効果的に発信することが求められています。
- ◆ 快適な住環境と自然の豊かさをあわせ持つ、多様な選択肢がある暮らしをアピールすることで、ステータス性を高めるなど、戦略的なプロモーションを展開し、子育て世代から選ばれ、暮らしたくなるまちを実現する必要があります。



これらの強みを伸ばして、弱みをしっかりと改善すれば、必ず、持続可能な活気あるまちであり続けることができると考えます。

※ 特徴(●)と課題(○)を色別に分類

## (2) ひとの状況

### ● 20歳代女性の転出が多く、子どもの生まれる数も減少

◆人口全体が減少傾向にありますが、若年世代はピーク時から25%減、特に20歳代の減少が顕著となっています。

### ● 宅地開発と地域人口の増加に相関関係がある

◆国勢調査によると、本市のDID(人口集中地区)の人口は平成7年から平成22年まで増加を続けています。

◆一方、近年の地区別人口の推移を見ると、犬山地区、城東地区、池野地区は増加していますが、羽黒地区、楽田地区は、平成17年以降の10年間で減少に転じています。

◆城東地区、池野地区は、**大型団地などの宅地開発の影響により、人口が増加してきた経緯**があり、子育て世代の転入により、年少人口(0-14歳)の割合も上昇しています。

### ● 30歳代は流入傾向にある

◆30歳代は転入増の傾向であり、あわせて9歳以下の転入も平均して増加傾向にあります。

◆転入出の傾向として、**名古屋市を含む近隣市町間での移動が多くなっています。**

### ● 晩婚化・晩産化が進む

◆本市においても、全国同様に未婚率が高まり、晩婚化、晩産化が進行しています。

◆**初婚年齢の平均は**、男性30.9歳、女性29.0歳で、男女ともに県平均を上回っており、理想の結婚年齢(市民アンケート)より**実際には2歳程高くなっています。**

◆未婚率も男女ともに上昇傾向で、30歳代前半では男性の約2人に1人、女性の約3人に1人が独身となっています。市民意識調査によると「**結婚したい**」という意向を持つ未婚者は**7割を超えて**おり、「結婚しない理由」の1位は「**出会う機会がない**」となっています。

## (3) しごとの状況

### ● 基幹産業は製造業

◆本市における就業構造をみると、男女ともに「**製造業**」従事者が多くなっています(H22 男7,523人。女2,979人)。雇用の受け皿として、また、市の産業を支える中心的存在として「**工業**」の影響が大きくなっています。

### ● 商業は非常に厳しい状況

◆経済センサス基礎調査(H19→H24)によると、商店数は642店から434店に**200店以上減少**しており、年間販売額も、739億6,576万円から613億2,200万円へ**100億円以上の減少**となっています。

### ● 市内で買い物をする人の割合が極端に低下

◆愛知県の消費者購買動向調査では、総合(全品目)60.5%→33.2%、買回り品50.7%→10.7%の減少がみられ(H12→H23)、**買い物や飲食のできる商業施設の充実を望む声や、農作物の直売所など地産地消を求める声も多くあります。**

### ● 耕作者の高齢化や農地保全の対応が必要

◆耕作放棄率は農地全体の14.3%に及び、県平均(11.7%)より高くなっています。耕作者の高齢化や担い手不足に伴い、将来耕作できなくなる、いわゆる「**耕作放棄地予備軍**」も潜在しています。

### ● 女性・高齢者・若者が活躍できる支援・仕組みが必要

◆**女性の活躍の場**として、**多様で魅力的な働き方を実現できる環境の整備**が求められています。

◆65歳以上の老年人口は27.3%(H27)に達しており、今後、高齢化がさらに進行する中で、**高齢者の活力を活かした地域づくり**が求められています。高齢者を始め、女性や若者など多様な主体が新たに地域の担い手となり活躍できるよう、**人材の発掘と育成が必要**です。

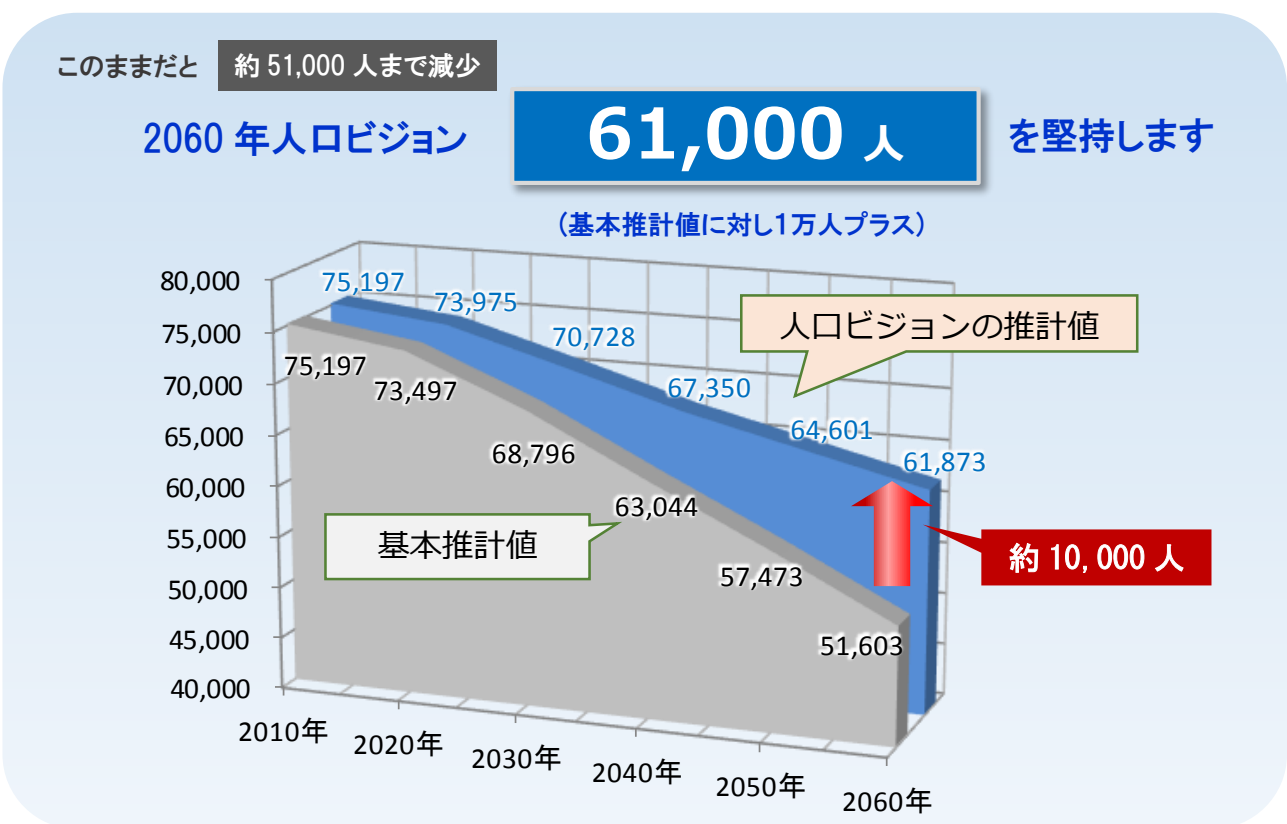
# 1 章 人口ビジョン

## 1 将来人口の目標をどこに置くのか？ 人口ビジョン

将来の人口を推計すると(基本推計値※)、このまま何も手を打たなければ、2060年(45年後)に人口は約51,000人と予測されています。

これは、現在から約2万4千人減少することになり、持続可能なまちづくりを進めるため、人口減少の改善が必要です。犬山市は基本推計値に対し約1万人増の61,000人の堅持に取り組みます。

※国勢調査値による国立社会保障人口問題研究所の推計を基に、移動率について、より直近の値に置き換えて求めた推計値



### ● 目標人口 61,000 人達成のために何が必要なのか？

#### 出生率を高めます

(合計特殊出生率)

##### 2015年:1.57→2040年:2.07の実現

国及び愛知県人口ビジョンに準拠する出生率の確保

- ◆若い世代の婚姻率を高める
- ◆市民の出産・子育ての希望を叶える

#### 移動率を改善します

移動率改善(0~9、25~34歳移動増60人/年) ※2014年比

- ◆若年世帯の転出を抑えつつ、転入増を誘導する
- ◆居住地として選ばれるよう魅力を高める

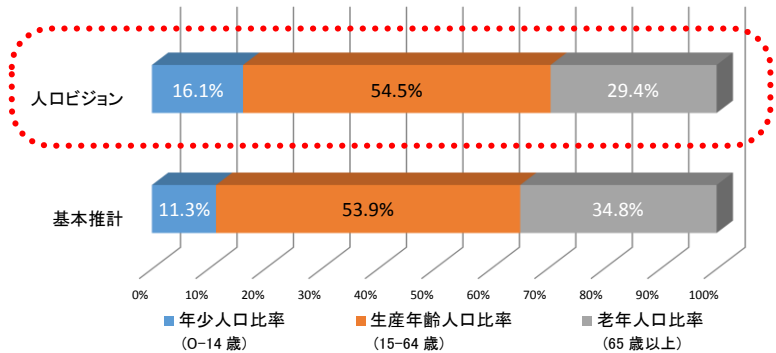


## ●61,000 人を達成すると何がかわるのか？

### 年齢構成比が改善

地域経済の縮小や担い手不足、税収の減少等に対応するためにも、若い世代の構成比を高めることが重要です。

61,000 人の人口ビジョン(人口の目標)を達成する中で、少子高齢化の傾向に歯止めをかけ、生産年齢人口の維持につなげるにより行政サービスを維持し、持続可能なまちが実現します。



改善の  
ために

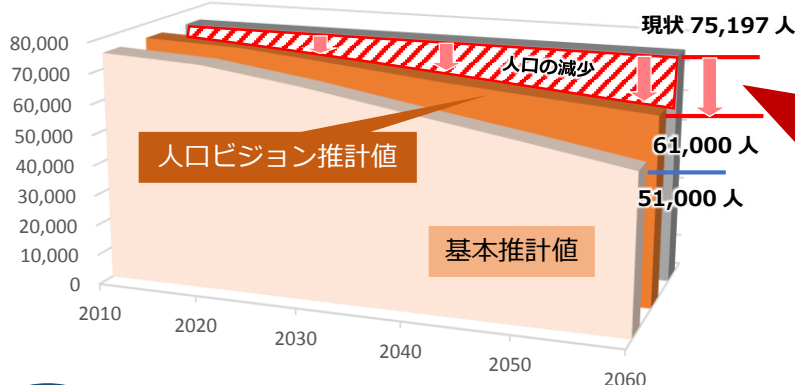
子育て施策の充実、定住促進事業、住環境の整備など

## ●人口減少を補うことが必要ではないか？

### 犬山市に訪れる人を増やします

人口ビジョンの総人口(2060 年)は 61,000 人ですが、ピーク時の人口と比べると 14,000 人近くの人口が減少することになります。

一方で、観光客数は増加を続けています。通勤・通学などによる昼間人口やインバウンドを含む観光、短期居住など広い意味での交流人口は、消費による地域経済の活性化につながり、地域の賑わいを取り戻すために大きな役割が期待できます。定住促進に加え、交流人口を意識したまちづくりを進めることが重要です。



人口ビジョン推計値の 61,000 人を達成しても、現状よりも 14,000 人程度の人口減となり、それによる経済の縮小を補うため、交流人口の拡大を目指します

改善の  
ために

シティプロモーションの展開、観光振興など

実現のためには、犬山に必要な「具体的な戦略」が求められます

# 2章 いいね！いぬやま総合戦略

## 1 総合戦略の基本的な考え方

総合戦略では、人口ビジョンに示した、人口減少状況を改善し、目標とする人口 61,000 人を達成するとともに、経済の縮小を改善していくため、今後 5 年間に取り組むべき目標と事業を設定します。

### 戦略策定の目的

#### ①人口減少を食い止める

【人口ビジョン】

2060 年の総人口

61,000 人

を達成するには

出生率の向上

移動率の改善

交流人口（滞在人口）の拡大

が必要

#### ②経済の縮小を改善する

上記2つの目的に特化した5年間に取り組むべき目標と事業の設定が必要

### 戦略策定の考え方(視点)

#### 新しい価値の創造

新しくゼロから生み出すことはもちろん、今ある制度や仕組みを工夫したり、異なる分野をかけ合わせたりして新しい価値を創り出し、より良い施策展開につなげます。

#### 地域資源をフル活用

地域にある多様な資源を磨き上げ、フル活用します。

#### チャレンジと突破

様々な分野において課題の本質を捉え、打開する方法を見つけ、市をあげてあらゆる手段を尽くしてチャレンジします。そして突破を図ります。

#### 人づくりを強く意識

最も大切なのは「人」。人と人とのふれあいを大切に、地域を愛する気持ちを高めることにより、誰もが活躍できる、誰もが行ってみたいくなる、住み続けたいくなる、そして豊かな気持ちを感じるまちになることができると考えます。



## 2 目指す方向性と達成のために必要な目標

前ページ「総合戦略の基本的な考え方」を踏まえ、戦略が目指す方向性と必要な目標を定めました。

### 戦略の方向性

犬山に暮らす人も 犬山を訪れた人も

## “豊かさを実感できるまち”

犬山に暮らす人も、犬山を訪れた人も、誰もが地域でのふれあいを通して、犬山の暮らしに心の豊かさを実感できるまちづくりを進めることが大切です。

市外の人にも犬山の魅力を広く知ってもらい、行ってみたいと思われるまち、活躍したいまちとなり、子どもからお年寄りまで市民一人ひとりが、犬山の暮らしに豊かさを実感し、これからもずっと住み続けたいと思えるまちを目指します。

### “豊かさを実感できるまち”の達成に必要な目標

3つの「まち」の実現で「犬山をもっと好き」になる！

#### 暮らしたいまち

「自然や“農”が近くにある暮らし」など、犬山らしい暮らし方・価値観を提案し「住んでみたい」まちになり、「住むまち」の魅力を高め「いつまでも住み続けたいまち」になります。

#### 活躍したいまち

女性や若者、高齢者を始め「しごとがあり、誰もが活躍できる居場所と出番があるまち」になります。地域に応じた多様な主体の活動を全力で応援します。

#### 訪れたいまち

犬山の地域資源の魅力を市外と市内の両方に広めることで「たくさんの人が交流する、市域全体がにぎわいの絶えないまち」になります。特に「犬山を大切に誇りに思う気持ち」を育みます。

## 総合戦略に具体的な取り組みを設定

実現のために5年間に最優先して取り組むべき目標と行うべき事業を定めました。

### 3 戦略の方向性と基本目標及び目標達成のための重点事業

## 戦略の方向性 豊かさを

人口減少と経済縮小克服のために平成 27 年度から平成 31 年度の 5 年間で最優先に取り組む目標と重点事業

### ◎基本目標

#### 基本目標 気持ちいい住環境

子ども

## “暮らしたいまち”がある

ねらい 住んでほしい 住み続けてほしい

- ◆ 幹線道路沿いの商業施設誘致にチャレンジ。買い物の不便さを解消し生活都市としての魅力を高める。
- ◆ 「自然や“農”が近くにある暮らし」など、犬山ならではの新たな暮らし方の価値観を提案し「住むまち」としての魅力を市内外に効果的に情報発信することで、都市ブランド力を高め「住みたいまち」を実現する。
- ◆ 定住を促すため、空き家や低・未利用地の活用、民間活力を活かした住宅の整備など、魅力ある住環境づくりに挑戦する。
- ◆ 幹線道路や鉄道駅を核として買い物や交通の利便性の良さを活かした「まちの魅力」を向上する。
- ◆ 若者世代・子育て世代の市内定住に向け、UIターン、就業の支援に加え、子育てと仕事の両立のため、多様な子育て支援を展開。小児医療や教育環境の充実なども加えて、若者が安心して結婚し、子を産み、育てることができる社会の実現に挑戦する。

#### ★チャレンジする重点事業★

- |                  |                           |
|------------------|---------------------------|
| ① 子ども医療費全額助成の拡充  | ⑥ 地域の集いの場開設支援             |
| ② わかりやすい子育て情報の発信 | ⑦ ふるさと定住促進サポート事業(UIターン支援) |
| ③ 育ちを支える“わ”づくり   | ⑧ 空き家の利活用！                |
| ④ 新たな商業施設の誘致     | ⑨ 里山・田園集落活性化              |
| ⑤ 住環境(インフラなど)の整備 | ⑩ 奨学金補助で犬山就労・定住促進！        |

学校

若者

子育て  
世代

働く世代

Etc.

本戦略では、市民アンケートや訪問型アプローチなどでいただいた意見・提案をもとに「犬山市の特徴と課題」を整理し、課題解決のために具体的な目標を設定するとともに、この5年間で最優先して取り組むべき重点事業を定めました。

## 実感できるまち

NPO

基本目標 居場所と出番

高齢者

# “活躍したいまち”がある

ねらい しごとがある 誰もが活躍できる

企業

- ◆新たな起業や地域ブランドが生まれる環境と仕組みづくりにチャレンジする。
- ◆基幹産業である「工業」充実のため、新たな工業団地の整備等を進め、雇用の場を確保する。
- ◆「祭り・伝統文化」などを通じた地域内の融和・地域力の向上にチャレンジする。
- ◆すべての子どもが自信と希望(目標)を持つことができるよう、あらゆる世代の人や地域と関わりを持ちながら自ら学び、成長できる環境を整える。
- ◆女性や若者、高齢者を始め多様な主体が活躍できる居場所と出番づくりを応援する。
- ◆地域に応じた多様な地域活動を応援する。また、地域の課題を自らが解決しようとする取り組みを応援する。
- ◆地元大学などの教育機関が活躍する場と機会の確保を重視。学校と学生の力を地域課題の解決に活かす。

### ★チャレンジする重点事業★

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| ① がんばる企業と新たな起業を応援    | ⑤ みんなで地域力UP! にチャレンジ |
| ② 新たな地域ブランド開発を応援!    | ⑥ 自治基本条例制定          |
| ③ 金融機関・犬山商工会議所との連携強化 | ⑦ 犬山の特色ある教育を推進      |
| ④ シルバーと若者が農業に挑戦!     | ⑧ 子育て・自分育ちプロジェクト    |
|                      | ⑨ 市民活動のさらなる支援       |

外国人

基本目標 人の交流

学生

# “訪れたいまち”がある

ねらい 住む人の誇りを高め 訪れたい人が増える

- ◆すべての取り組みを市内外に広めるためのシティプロモーションを展開。効果的な情報発信・地域の絆強化・郷土愛の醸成を図る。
- ◆「豊かな自然」「城」「伝統文化」「人の優しさ」など、犬山が誇る地域資源を活かして「犬山ファン」や「心から地元を誇りに思う気持ち」を育む。住む人が地域への誇りを高め、市外の人にも魅力的な「訪れたいまち」を目指す。
- ◆「観光」を戦略的に展開。観光を基軸に地域資源を活かしながら、多様な分野と連携。観光を産業として裾野を拡げ、産業全体の強化に挑戦。重点とする視点は「新しい観光の魅力発掘」であり、特に「体験」「人の交流」「滞在」をテーマに展開する。

### ★チャレンジする重点事業★

- ① 戦略ある“観光まちづくり”の推進
- ② ふるさと納税制度の活用とクラウドファンディングの導入
- ③ シティプロモーションの積極的展開

女性





特徴と課題

- 市内で買い物をする人の割合が極端に低下
- 宅地開発が地域の人口を増加させてきた経緯がある
- 20歳代女性の転出が多く、子どもの生まれる数も減少。子育てしやすい環境と支援が必要
- 30歳代は流入傾向にある

ねらい 住んでほしい 住み続けてほしい！

5年間のすすめかた

- 幹線道路沿いの商業施設誘致にチャレンジ。買い物の不便さを解消し、生活都市としての魅力を高めます。
- 「自然や“農”が近くにある暮らし」など、犬山ならではの新たな暮らし方の価値観を提案。「住むまち」としての魅力を市内外に効果的に発信することで、都市ブランド力を高め、「住みたいまち」を実現します。
- 定住を促すため、空き家や低・未利用地の活用、民間活力を活かした住宅の整備など、魅力ある住環境づくりに挑戦します。
- 幹線道路や鉄道駅を核として、買い物や交通の利便性の良さを活かした「まちの魅力」を向上します。
- 若者世代、子育て世代の市内定住に向け、UIJターン、就業の支援に加え、子育てと仕事の両立のため、多様な子育て支援を展開。小児医療や教育環境の充実なども加えて、若者が安心して結婚し、子を産み、育てることができる社会の実現に挑戦します。

目標指標(KPI)

合計特殊出生率



1.57 1.63

目標指標(KPI)

社会移動人口



-85人 転入出  
転出超過 増減0

目標指標(KPI)

今後も犬山市に住み続けたいと考える市民の割合



83% 90%

# 1 子ども医療費は中学卒業まで全額助成します

(子ども医療費助成の拡充)

安心して子育てができるよう、子どもにかかる経済的な負担を軽くすることが求められています。

平成28年度から、中学3年生までの医療費(医療機関に通院や入院をした場合や、院外処方箋により保険薬局で薬を受け取った場合)を全額助成します。

不安なく医療を受けていただき、若い世代の子育ての希望を叶えます。



## チャレンジする主な取り組み

### ●子ども医療費助成の拡充

中学3年生までは、本人負担額の全額を市が助成  
高校1年生から3年生までは本人負担額の2/3を市が助成  
(自己負担は1/3)

## みなさんからの意見・提案

- ◆子ども医療費中学生まで無料。ぜひ実現させてね。
- ◆子ども医療費がタダになるといいな。

# 2 わかりやすい子育て情報を発信します

(市ホームページリニューアル事業・わかりやすい子育て情報の発信にチャレンジ!事業)

子育てに関する情報をまとめて得られる場は子育て世代にとって、とても重要であると考えます。

「広報いぬやま」にある子育て情報コーナーをさらに充実します。

また、市ホームページのリニューアルに伴い、子育てに関する行政情報を一元化する特設ページをつくり、行政からのお知らせだけでなく、市民のみなさんからの情報も積極的に発信します。



## チャレンジする主な取り組み

- 広報いぬやま「子育て情報コーナー」のさらなる充実
- 市ホームページのリニューアルに伴い「子育ての専用ページ」を特設

## みなさんからの意見・提案

- ◆情報を入手しやすくなってほしい(知っている人しか知らない)。HPの充実、パンフレット(施設やサービス)。

### 3 育ちを支える「わ」づくりをすすめます

「子育てしやすいまち」の実現には、子を育てる親に地域の様々な人が関わりを持ち、子育てを支えることが重要と考えています。子育ての負担感や不安感を軽くして、これから親になる人や将来の世代に、子育ての喜びを伝えることが大切だと考えます。地域全体が地域の子どもを見守り、育ちを支えることができるような「わ」づくりを積極的に進めます。

(0歳児のマイ保育園事業ほか)



#### チャレンジする主な取り組み

##### ●ベビワン：訪問事業

主任児童委員・保健師・助産師・看護師による赤ちゃん訪問

##### ●中学生の子育て体験事業の強化

中学生が赤ちゃんに触れ合う機会をつくれます

##### ●0歳児のマイ保育園事業

母子手帳交付時にマイ保育園を登録。出産前は赤ちゃんに触れ合うプレ体験・出産後には赤ちゃんとの交流など、保育園が子育ての不安を和らげる身近な場所となります

##### ●子育て世代包括支援センターの整備

#### みなさんからの意見・提案

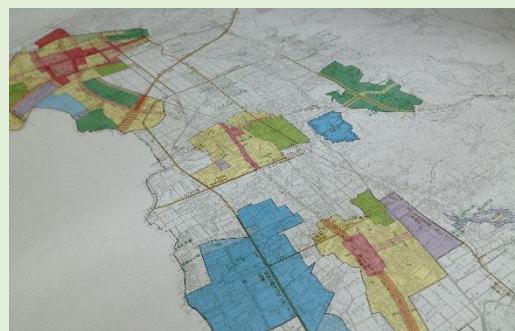
- ◆地域みんなで育てる、という環境をつくるのが大切だと思う。
- ◆子どものいる生活に若い世代が憧れを持てるような環境を作っていくべき。

### 4 あらたな商業施設を積極的に呼び込みます

市内の幹線道路のうち、いくつかの路線を「商業集積ライン」とし、道路沿いへ商業系施設を積極的に呼び込みます。買い物の不便さを改善し、「住むまち」としての魅力を高めます。

そのために、第5次犬山市総合計画などの見直しを行い、民間のチカラを引出し、支援できる体制をつくれます。

(第5次犬山市総合計画の見直し ほか)



#### チャレンジする主な取り組み

##### ●商業施設を誘致するために必要な調査と検討

##### ●商業施設を呼び込みたい幹線道路を設定

##### ●第5次犬山市総合計画などの見直し

#### みなさんからの意見・提案

- ◆飲食店が少ない。
- ◆若者向けのあそぶ場所があるといい。
- ◆買い物する場所が増えるといい。



## 5 住環境（インフラなど）を整えます

（都市計画道路整備・地区計画道路整備・道路維持修繕改修）

犬山がもっと暮らしやすいまちになるよう、公共交通網や道路などのインフラをしっかりと整備することはとても大切です。

市街化区域内の低・未利用地が活用しやすくなるような効果の高まる道路整備を進め、民間のチカラを活かした宅地化を促進します。

渋滞の改善が期待されるような幹線道路の整備を優先して進めます。



### チャレンジする主な取り組み

- 重要な幹線道路の整備（富岡荒井線、犬山富士線など）
- 地区計画道路の整備
- 安全で快適に生活できるよう道路・橋梁等の修繕や街路灯を設置・修繕
- 利便性をさらに向上するコミュニティバス運行事業
- 市街化区域内の低・未利用地の整備

### みなさんからの意見・提案

- ◆道を整備してほしい。
- ◆幹線道路ができるとうろいろ便利になる。
- ◆道路が広くなるといいな。

## 6 地域の集いの場づくりを応援します

（地域の集いの場開設支援事業）

地域での仲間づくりや、生きがいの支援、介護予防につながる活動など、高齢の方が住みなれた地で、いつまでも安心して暮らすことができるような仕組みづくり（地域包括ケアシステム）を進めています。

そのための取り組みの一つとして、地域の「集いの場」を自ら開設しようとする熱意ある団体を支援します。

高齢者だけでなく、あらゆる世代の誰もが自由に集まることができる「集いの場」づくりを応援します。



### チャレンジする主な取り組み

#### ●地域の集いの場開設支援事業

地域の集会場などを利用し、地域の高齢者を始めあらゆる世代が主体となって介護予防事業などを行う場合の「集いの場」開設に必要な支援を行います。

### みなさんからの意見・提案

- ◆高齢者が住みやすい街づくりを望んでいます。
- ◆年をとっても住みやすくなるといいね。

## 7 帰ろう ふるさと犬山へ 暮らそう 働く犬山で

(ふるさと定住促進サポート事業)

市内の親と同居、もしくは親の近くに住みUターン定住する子ども世帯に対して、住宅のリフォーム・購入・新築などにかかる費用の一部を補助します。

市外在住で市内に勤務する人が市内に定住するIターンに対して、住宅の購入や新築にかかる費用の一部を補助します。

犬山に魅力を感じてUIターンするみなさんを応援します！



### チャレンジする主な取り組み

#### ●ふるさと定住促進サポート事業

同居支援型(リフォーム、取得、新築)の場合：費用の1/2、または上限60万円を補助

近居支援型(取得、新築)の場合：上限20万円を補助

#### ●(仮称)Iターン住宅サポート事業

在勤支援型(取得、新築)の場合：上限20万円を補助

### みなさんからの意見・提案

- ◆若者が住みたいと思えるまちに。
- ◆結婚を機に市外へ引っ越してしまう人が多く残念だと思う。
- ◆若者の定住者が増えるといい。

## 8 空き家の活用をすすめます

(空き家活用事業)

空き家のデータベースを整備しながら、空き家をまちの資源として利活用が進むよう取り組みます。

定住促進や地域の活性化を目指し、積極的に利活用できるように、犬山の魅力紹介などと併せて空き家の情報提供(空き家バンク)を進めます。



### チャレンジする主な取り組み

#### ●空き家情報提供(空き家バンク)の実施

#### ●犬山の魅力がわかるポータルサイトの開設

#### ●空き家に関する相談窓口の拡充・連携

### みなさんからの意見・提案

- ◆住める土地や空き家を利用したくてもできない。
- ◆空き家が多いので空き家を整備することで、犬山に住みたい人が住めるようになる。

## 9

### 「里山に住む」仕組みづくりに挑戦します

(里山・田園集落活性化事業ほか)

栗栖や今井などの里山・田園集落の活性化を図るため、地域資源を活かした定住促進を進めます。空き家活用や地域活動に関わる人々への住宅サポートなどに取り組みます。

また、木曾川を中心に水辺を活かした地域の活性化につながる取り組みを進めます。



#### チャレンジする主な取り組み

- 里山・田園集落活性化事業
- 水辺を活かしたまちづくりプロジェクト

#### みなさんからの意見・提案

- ◆名古屋にも近いけれど、里山の雰囲気や山や緑のあるところがいい。
- ◆里山の近くに住めるような古民家があったらうれしいです。桃など果樹をたくさん育てたい。
- ◆子育てをしていく中で自然がたくさんあって、子どもにもいいと思います。

## 10

### 奨学金補助で犬山への就労・定住を促進します

(奨学金補助で犬山就労定住促進！事業)

奨学金を受けている学生さんが、卒業後、犬山市内に就職し、居住する場合に、奨学金返済の一部を市が補助して定住を促します。



#### チャレンジする主な取り組み

- 奨学金補助で犬山就労定住促進！事業

#### みなさんからの意見・提案

- ◆留学生向けの奨学金があれば良いと思う。
- ◆定住人口増加という面で、奨学金返還の補助制度は良いと思う。





### 特徴と課題

- 商店数が減少するなど商業は非常に厳しい状況
- 雇用の受け皿・市の産業を支える中心として工業の影響が大きい
- 女性・高齢者・若者など誰もが活躍できる支援や仕組みが必要
- 耕作者の高齢化や農地保全への対応が必要

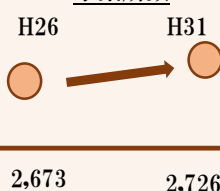
## ねらい しごとがある！誰もが活躍できる！

### 5年間のすすめかた

- 新たな起業や地域ブランドが生まれる環境と仕組みづくりにチャレンジします。
- 基幹産業である「工業」充実のため、新たな工業団地の整備等を進めるなど「しごとの場」をつくります。
- 「祭り・伝統文化」などを通じた地域内の融和・地域力の向上にチャレンジします。
- すべての子どもが自信と希望(目標)を持つことができるよう、あらゆる世代の人や地域と関わりを持ちながら自ら学び、成長できる環境を整えます。
- 女性や若者、高齢者を始め多様な主体が活躍できる居場所と出番をつくります。
- 地域に応じた多様な活動を応援します。地域の課題を自らが解決しようとする取り組みを応援します。
- 地元大学などの教育機関が活躍する場と機会の確保を重視します。学校と学生の力を地域課題の解決に活かします。

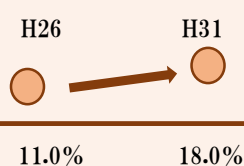
#### 目標指標(KPI)

##### 事業所数



#### 目標指標(KPI)

##### 市民活動に参加している市民の割合



# 1 がんばる企業と新たな起業を応援します

(企業支援ワンストップ型プラットフォーム運営事業・小規模企業設備投資支援事業ほか)

市内でがんばる企業や新たに起業したい人が抱える様々な悩みを解決するために、気軽に相談できるワンストップ窓口をつくります。情報提供・相談などの丁寧な支援を行い「犬山は起業・創業がしやすいね」といわれるような体制づくりを進めます。

がんばる小規模事業者の販路開拓など、持続的発展を支援します。起業を始め、その人の生き方に合った多様な働き方を応援します。



## チャレンジする主な取り組み

- ワンストップ型相談窓口の設置・創業支援事業計画の策定  
企業の創業や起業したい人を応援する仕組みをつくります
- 小規模企業設備投資支援事業  
がんばる小規模経営者の設備投資を支援します
- 商工会議所主催の起業セミナー開催の支援  
女性や若者など様々な人が気軽に参加できるような起業セミナーを開催します

## みなさんからの意見・提案

- ◆働く所が多くなるといいね。
- ◆企業誘致を積極的に行い、雇用増加に努めて欲しい。
- ◆新しいお店が続きやすい、参入しやすい環境、制度が整うと思う。

# 2 新たな地域ブランド開発を応援します

(特産品等を通じた犬山PR事業・6次産業化支援事業ほか)

自慢できる名物がたくさんあることで、まちの魅力が一層高まります。犬山ドッグをはじめ、多くの名物や特産品が生まれ、磨かれるよう、様々な取り組みを支援します。

特に、市内で作る農産物等を加工して新たな地域ブランドや商品を開発する事業を応援します。

犬山の特産品を市外に向けて売り込むための営業活動を官民一体となってどんどん仕掛けます。



## チャレンジする主な取り組み

- 特産品・工業製品を通じた市外への犬山PR作戦
- 新たに開発・商品化した事業者に対する設備投資、販売促進活動などへの助成(6次産業化支援事業など)

## みなさんからの意見・提案

- ◆地元農産物を活用して特産品を作る企業が少ない。地域内で資源が循環していない。



### 3 犬山の活性化へ金融機関・商工会議所・市が連携

(金融機関・商工会議所との連携強化)

総合戦略の推進においては、多様な主体との関わりが重要です。取り分け、金融機関や商工会議所と連携することは、経済の活性化、子育て支援、教育など幅広い分野での展開が期待できます。

平成 28 年 2 月 3 日に締結した「地方創生にかかる包括連携協力に関する協定」においては、犬山商工会議所及び 12 の金融機関と包括協定を結びました。今後は、この協定に基づき、有益な取り組みを検討し、実施していきます。



#### チャレンジする主な取り組み

- 連携事業候補の洗い出し
- リーディングプロジェクト(先行事業)の抽出・検討・実施

#### みなさんからの意見・提案

- ◆ 犬山の企業と市民を結びつける取り組みがあるといい。
- ◆ 飲食店や商業施設などもっと市内にお金が落ちるような対策を。期待しています。

### 4 シルバーと若者が農業に挑戦！

(シルバーと若者が農業に初挑戦！事業)

高齢者が社会に参画し、活躍する場を広げることを応援するとともに、市の農業活性化を図るため、(公社)シルバー人材センター会員による高齢農家の農作業支援やセンターによる農園事業の実施体制構築を支援します。

また、農業にチャレンジする若者への技術支援など、農業を中心とした異年齢の交流活性化を目指します。



#### チャレンジする主な取り組み

- シルバー人材センターによる“農”の拠点づくり
- 高齢農家の農作業お手伝い体制の構築
- 農業を始めたい(もしくは農業をがんばっている)若者に対する技術支援

#### みなさんからの意見・提案

- ◆ 農業をもっと活性化させ、地産地消を推進させるとよい。
- ◆ 「犬山と言えば〇〇」という特徴がない(以前は桃があった)
- ◆ 産地直送の新鮮な野菜を買える場所が増えるといい。



## 5 みんなで地域力UP！にチャレンジ

犬山市では、そこに住む人たちの手によって、地域ごとの特性を活かしたまちづくりが進められています。

町内会、コミュニティ、自治会、学校、事業所、子供会など、様々な団体が地域の課題解決のための活動に一丸となって取り組むことを一層支援し、郷土を深く愛する気持ちを高め、さらに魅力ある地域づくりの実現を目指します。

また、活動の中で、地域を支える人材が育つような取り組みを、行政と市民が一緒になって進めます。

（“総力”協議会パイロットプロジェクト）



### チャレンジする主な取り組み

#### ● “総力”協議会パイロットプロジェクト

モデル地域の設定、地域で活動する団体等の調査、ワークショップを通じた課題などの抽出、地域の将来像、などを検討し実践するモデル事業に取り組みます

### みなさんからの意見・提案

- ◆ 犬山に新しく来た人が地域に馴染める風土が必要。
- ◆ まちをよくしようと思っている市民がたくさんいるのがいい。
- ◆ 成人式は他と違って自分達でつくりあげるので、自慢していいと思う。
- ◆ 祭りがたくさんあるのがいい。

## 6 市民が主役のまちづくりルールをつくりましょう

（自治基本条例制定）

地域の課題を克服していくため、市民と行政はそれぞれの役割を認識し、協働のまちづくりを進めることが大切です。

住民が地域を守り、活気を持っていきいきと暮らせるようなまちの担い手となっていくことを目指し、地域づくりの考え方や地域活動などにおける基本的なルールを制定します。



### チャレンジする主な取り組み

#### ● 自治基本条例制定

### みなさんからの意見・提案

- ◆ ボランティア的なことが盛んになっていくと良い。
- ◆ 行政と市民が協働できる場がもっとあるといいな。

## 7 犬山らしい教育をすすめます

(教育委員会基本条例制定・大綱の策定・小中学校営繕)

これまで行ってきた犬山市独自の教育の取り組みについて、内容をしっかりと検証し、公表します。

基本的な考え方を市民のみなさんに知っていただくため、成果も含め、わかりやすくお伝えする機会をつくります。

子どもたちの健やかな育ちを応援するため、学校設備を積極的に改善します。



### チャレンジする主な取り組み

- 教育委員会の運営ルールを定めた「教育委員会基本条例」を制定
- 現場の声や子ども、保護者の想いを反映した犬山らしい「教育に関する大綱」の策定
- 学校施設を積極的に修繕

### みなさんからの意見・提案

- ◆自校で作る給食は良い。
- ◆小・中学校の活動内容が知りたい（広報とかに載せてほしい）。
- ◆小学校の設備が改善されると良いと思います。

## 8 子育て・自分育ちを分かち合いましょう

(子育て・自分育ちプロジェクト)

若い世代が、子育てをしやすいと感じられるまちの実現を目指して、子育て・教育の情報共有や交流の場づくりに努めます。

小中学生の児童・生徒を持つ子育て世代を対象に、子育て・教育に関するイベントを開催します。

一人で悩まず、日ごろの悩みや想いを共有したり交流したりする場を設けて、子育てと自分育ちを応援します。



### チャレンジする主な取り組み

- 小学生保護者向けの交流イベントを開催
- 中学生保護者向けの子育て・自分育ちに役立つ講演会を開催

### みなさんからの意見・提案

- ◆子育てのしやすいまち、安心して子育てができる環境づくりが必要。
- ◆子どもが小学校入学した後も子育てを学べる機会があるといい。
- ◆楽しみながら学べる子ども向けワークショップなどがあるといい。



## 9 まちへの想いをカタチにしよう

(市民活動支援事業)

ふるさとを愛する気持ちや、まちに住む「ひとり」としての自覚は、「市民が主役のまち」の実現に欠かせないものです。

すべての市民はまちの担い手であり、まちの魅力は人によって生まれ、磨かれます。市民一人ひとりの「このまちが好き!」「ほっとけない!」の想いを、自立した市民活動として展開できるよう、支援を続けます。



### チャレンジする主な取り組み

- 市民活動支援施策の見直し・推進
- 多くの市民がまちづくりや社会活動に触れるための場づくり
- 市民活動団体が自立するための団体経営に関する支援の強化

### みなさんからの意見・提案

- ◆生涯活動がもっと増えて欲しい。市民の人材を活かしてほしいな。そんなシステムがあるといいな。
- ◆行政への市民参画の機会が増えるといい。
- ◆地元の人で犬山が好きという人が多い。
- ◆20代や30代の人を地域活性化のリーダーとして、育てたり、支援していく仕組みがあるといいと思います。





### 特徴と課題

- 犬山の魅力や情報を内外に向けて効果的に発信できていない
- 観光客数は増加傾向だが、さらなる取り組みが必要
- 市民が誇りに思うものは「豊かな自然」や「伝統文化」「地域の祭り」「城」など

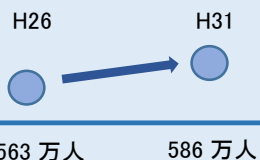
## ねらい 住む人の誇りを高め 訪れたい人が増える

### 5年間のすすめかた

- すべての取り組みを市内外に広めるシティプロモーションを展開。効果的な情報発信・地域の絆強化・郷土愛の醸成を図ります。特に「見せ方」「伝え方」にこだわります。
- 「豊かな自然」「城」「伝統文化」「人の優しさ」など、犬山が誇る地域資源を活かして「犬山ファン」や「心から地元を誇りに思う気持ち」を育みます。住んでいる人が地域を愛し心豊かに楽しく暮らしていることで、市外の人にも犬山が魅力的に映り、訪れたいまちを目指します。
- 「観光」を戦略的に展開。観光を基軸に地域資源を活かしながら多様な分野と連携。観光を産業として裾野を拡げ強化します。重点とするのは「観光の新たな魅力発掘」であり、特に「体験」「人の交流」「滞在」をテーマに展開。多くの人に関わり活躍できるよう、市域全体でまちの魅力をつくります。

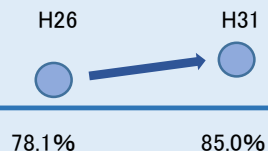
#### 目標指標(KPI)

##### 観光入込客数



#### 目標指標(KPI)

##### 犬山のまちに愛着を感じる市民の割合



# 1 戦略ある“観光まちづくり”をすすめます

(観光戦略会議の開催・観光×〇〇事業)

これまで観光とは縁遠かった、ひと・組織・産業など、様々な分野の地域資源とのかけ合わせ(観光×〇〇)により、新しい観光産業を創り出します。

観光に関わる産業の裾野を広げることで経済効果を市全体に広げることに挑戦します。特に「人の交流や体験」など、新たな魅力の発掘にチャレンジします。(一社)犬山市観光協会が「人や地域」をつなぐコーディネーターとなって戦略的な“観光まちづくり”の展開を支援します。



## チャレンジする主な取り組み

### ●観光戦略会議の開催

観光を産業として広がりを持たせるために戦略的な“観光まちづくり”を推進。ひと、団体、企業(工場等)など多様な主体の参画と活躍を促します

### ●観光×〇〇事業

観光と異分野のかけ合わせ事業に挑戦

## みなさんからの意見・提案

- ◆城下町の一点集中ではなく、観光客を周辺に広げてほしい。
- ◆犬山の自然をもっと楽しめるようになるといいな(キャンプ場などの充実、体験農業など)。
- ◆泊まる場所が少ない。

# 2 ふるさと納税制度を活用します(クラウドファンディングの導入)

(ふるさと納税増進地域産業活性化推進事業・ガバメントクラウドファンディング事業)

平成 27 年から開始したふるさと納税は、多くの方に犬山の良さを知ってもらう機会となり、様々な事業の財源を確保できました。今後は期間限定品など、より魅力的な納税返礼品(特産品など)の発掘に取り組みます。納税してくださった方がもっと犬山のファンになれるよう、積極的なPRを行います。

クラウドファンディング手法の導入によりさらなる財源確保に取り組みます。



## チャレンジする主な取り組み

### ●魅力的な返礼品(特産品)の発掘

### ●犬山ファンを増やすため、観光客(犬山を訪れた人)や出身者に対する積極的なプロモーションを展開

### ●ガバメントクラウドファンディングの導入

## みなさんからの意見・提案

- ◆ふるさと納税に力を入れると良い。
- ◆クラウドファンディングを有効に活用できると良い。

(注) ガバメントクラウドファンディング市が推進したい事業に対して、共感や賛同する人々から資金(寄付)を募る事業手法

すべての取り組みを市内外に発信！愛されるまち犬山へ！

### 3 シティプロモーションを積極展開します

犬山にはどんな魅力があるのか？  
犬山では住環境も含め、どんな暮らしができるのか？  
行政サービスの内容や水準は？

などを、見えるように、わかるように伝えることはとても大切です。

わかり易くお示しすることで、市内に住む人には犬山の良さを再認識してもらい、「ずっと住み続けたい」まちになり、市外の人にも興味を持ってもらい、「訪れたい」「住んでみたい」まちになることを目指します。そのために、シティプロモーションを積極的に展開します。

具体的には広報いぬやまや平成 28 年度からリニューアルする市ホームページなどを始め、様々な手法を用いて“犬山”の魅力を発信します。特に、丁寧でわかり易い表現を心がけるなど、「見せ方」「伝え方」にこだわります。

そして情報発信などの取り組みを通じて、ふるさと犬山への関心を高め、愛着を感じ、「自分がこのまちの一員だ」という誇りを高めることを目指します。そこから、地域を大切にす新たな活動も生まれるものと考えます。

住んでいる人が心豊かに暮らしているから、訪れた人も楽しくなる…。シティプロモーションを展開し、誰もが「豊かさを実感できるまち」を目指します。

#### チャレンジする主な取り組み

- 市ホームページリニューアルなどによる効果的な情報発信
- 開局！犬山チャンネル（動画による犬山魅力発信）
- シティプロモーション強化事業

(シティプロモーション強化事業ほか)



#### シティプロモーションとは？

定義は明確でなく捉え方も多様ですが、ここでは地域の魅力を掘り起こし、その魅力を内外に発信することで地域の活性化を図る取り組みを指します。特に、そうした活動を通じた住民の地域への愛着度の向上が重要と考えます。

#### みなさんからの意見・提案

- ◆観光都市として全国的にアピール活動して、観光客が増えるといい。
- ◆名古屋から近いところをもっとアピールしては。
- ◆豊かな自然と景観は大変良いと思う。
- ◆空気が良く、自然の中で遊べる場所が良い。
- ◆祭りを始めとした多くの文化があるのがいい。
- ◆市のHPが充実するといい。
- ◆地区ごとに個性・伝統があり楽しい。
- ◆外国人の人とかに犬山の良い所を広めると良い。



## 4 事業一覧

基本目標の実現のための重点プロジェクトを含め、下表の個別事業を戦略に位置付けます。

### 基本目標 気持ちいい住環境「暮らしたいまちがある」

分野	主な事業
子育て支援	★子ども医療費助成の拡充
	★わかりやすい子育て情報の発信にチャレンジ！
	★ベビワン♥訪問事業
	★中学生の子育て体験事業の強化
	★0歳児のマイ保育園事業
	★子育て世代包括支援センターの整備
	安心できる子育てを応援「子育て応援隊」(家庭児童相談室・子育て講座・子育て支援センター・ファミリーサポートセンターなど)
児童館・児童センターの運営。放課後児童クラブの運営	
子育て支援 定住促進	おいしい学校給食のアピールによる子育て世代の定住推進事業
健康市民づくり	市民の健康づくり
	健康ポイント事業
	大人の風疹ワクチン接種助成事業
	ミニ健康診査
商業誘致(買い物利便性向上)	★新たな商業施設を呼び込みます (第5次犬山市総合計画の見直しほか)
住環境整備	★重要な幹線道路の整備
	★地区計画道路の整備
	★道路等維持修繕改修
	★市街化区域内の低・未利用地の整備
	★コミュニティバス運行事業
拠点づくり	★地域の集いの場開設支援事業
定住促進	★ふるさと定住促進サポート事業(同居支援型・近居支援型)
	★(仮称)Iターン住宅サポート事業(在勤支援型)
	★空き家活用事業
	★里山・田園集落活性化事業
	★水辺を活かしたまちづくりプロジェクト
	伝統的建造物を活かした定住人口促進事業
	★奨学金補助で犬山就労定住促進！事業
名古屋経済大学生・留学生の犬山市内定住支援事業	
暮らし向上	ICTで市民サービス向上にチャレンジ事業

## 基本目標

## 居場所と出番「活躍したいまちがある」

分野	主な事業
産業振興	★企業支援ワンストップ型プラットフォーム運営事業
	★小規模企業設備投資支援事業
	★商工会議所主催の起業セミナー開催の支援
	★特産品・工業製品を通じた市外への犬山PR作戦
	★6次産業化支援事業
	★金融機関及び犬山商工会議所との包括的連携協定
	企業立地促進事業
しごとづくり	★シルバーと若者が農業に挑戦！事業
地域づくり	★“総力”協議会パイロットプロジェクト
	★自治基本条例制定
	★子育て・自分育ちプロジェクト
	地域コミュニティの支援(コミュニティ推進協議会活動支援など)
	★市民活動支援事業(市民活動助成金など)
教育	★教育委員会基本条例制定
	★教育に関する大綱の策定
	★小中学校営繕
生涯活躍	高齢者の生きがい活動・介護予防の支援・生活支援(高齢者タクシー利用助成事業など)
障害者支援	障害者の自立・社会参加の支援(障害者タクシー料金助成事業など)

★・・・重点事業



## 基本目標 人の交流「訪れたいまちがある」

分野	主な事業
情報発信	★市 HP リニューアル・広報紙の発行による情報発信
	★開局！犬山チャンネル
	★シティプロモーション強化事業
観光振興	★観光戦略会議の開催
	★観光×〇〇事業
	「新たな観光」需要の取り込み事業
	犬山観光キャンペーン・観光宣伝の実施
財源確保	★ガバメントクラウドファンディング事業
犬山ファン拡大	★ふるさと納税倍増地域産業活性化推進事業

★…重点事業





## 犬山の未来を考え隊とは？

総合戦略の策定は、様々な世代の人の意見を聞き進めていく必要があります。特に人口減少や地域経済の縮小という課題に対しては、犬山の未来を担う「若い世代」の参画がとても大切と考えています。

策定にあたり「若い市民と職員が一緒になって意見を出し合い、課題解決の道を考える場と機会をつくりたい！」と考え「若い市民と職員が犬山の未来を考えるのっていいね！ワーキンググループ」を結成！熱い活動を繰り広げました。

○名称 「犬山の未来を考え隊(若い市民と職員が犬山の未来を考えるのっていいね！ワーキンググループ)」

○活動期間 平成27年7月～11月

○参加者 若い市民と職員 22名

○目的

- ◆若者と市職員が犬山の未来のため共通の課題について一緒に考え議論します
- ◆総合戦略の策定にあたって若者ならではの視点で新たな事業を提案します



○主な活動内容

①犬山の未来を考えるワークショップの実施(⇒会議にて「犬山の未来を考え隊」へ変更)。未来への提言

- ◆若者が犬山の未来について考えるための場と機会を設定
- ◆「ゆるやかに真剣。そして楽しく」を基本とし、ワークショップは全4回実施しました

②訪問型アプローチへの参画

- ◆市が実施する訪問型アプローチに参加

※訪問型アプローチ：企業、学校、子育てサークル、子ども未来園などを訪問しインタビューやアンケートを実施

## 提案の概要

### ★〔その1〕犬山を作り隊(仮)結成！★

#### ～「犬山にアディクテッド」♥ 集まれ！みんなが観光大使～

- 市内外の人に犬山のイベントに参画してもらうことを継続することで、「犬山」ってオモシロイ！とってくれる人を増やします！
- 具体的な取り組み

あかりアート

犬山グルメ開発！



(注)アディクテッド(英) addicted  
：夢中になること

## 訪問型アプローチとは？

「犬山の未来を考え隊」が、学校、企業、地域の祭りなどいろんなところへ意見や提案をいただきに伺いました。

市民のみなさんに「いぬやまのここがいいね！カード」「いぬやまがこうなるといいね！カード」を書いてもらうというものです。

その他、少人数のグループにインタビューを行ったり、その場でワークショップをして、模造紙にペタペタはったり……。たくさんの方との出会いの中で「犬山の未来がよくなるには？」の提案を数多くいただきました！



## 主な訪問先

犬山高等学校、犬山南高等学校、誉高等学校、名古屋経済大学、名古屋経済大学インターン生、楽田西子ども未来園、羽黒南子ども未来園、五郎丸子ども未来園、ももっぴ通信、なないろおやこ、英語サークル「Enjoy English」、子育て広場たお、ガールスカウト51分団、老人クラブ連合会、西楽田団地コーヒータイム、犬山商工会議所(小規模企業振興委員会)、犬山農芸、今仙電機、エナジーサポート、農業振興地域整備推進協議会、栗栖夏祭り、上野新町夏祭り、楽田夏祭り など(順不同)



## ★ [その2] INUYAMAおしごとマルシェ ★

～キャンピング！ジャンピング！  
ワーキング！～

- 犬山の自然を活かして「企業」と「働きたい人」の出会いをつくります。
- 「型」にはまらない就職活動としてPRします！



## いいね！いぬやま総合戦略THE・市民会議とは？

「訪問型アプローチ」で市内のいろいろなところへ出かけお聞きした意見・提案の数は延べ1,500件にもなりました。

みなさんからいただいた貴重な意見をもとに、「犬山の未来に必要なことって何だろう？」を考える機会として「いいね！いぬやま総合戦略THE・市民会議」を開催！9歳から77歳までの47名に参加していただきました。音楽が流れリラックスした雰囲気の中、お茶など飲んで楽しみながら戦略づくりのための貴重な意見・提案をいただくことができました！

- 日 時 平成27年9月23日(水) 午後1時～4時
- 会 場 犬山国際観光センター“フロイデ”多目的研修室1・2
- 参加者 47名
- 内 容 総合戦略策定にあたり、「犬山の未来に必要なことって何だろう？」をテーマにワークショップを行いました



### 会議のようす

参加者は「まち」「ひと」「しごと」のテーマごとに分かれたテーブルに着席。ワークショップをスタート！

これまで市内各地で集めた犬山の「ここがいいね！」と「こうなるといいね！」の声をまとめ、カードにしたものを使用。参加者はカードの中から、特に犬山にとって必要だと思う意見や提案を各々3つ選びました。その後、グループ内での意見交換を経て、さらにグループごとの人気投票により上位3提案を選出。参加された皆さんは、ご自身の提案も交えて白熱した意見交換を展開！市民のみなさんが感じたことを、他の市民の方が共感し、想いを発展させていく……。会場は犬山の未来を想う熱気あふれる空間に！ワールドカフェ形式も取り入れ、テーマとメンバーを入れ替えながら、たくさんの方との交流も楽しんでいただきました！



会場のようす



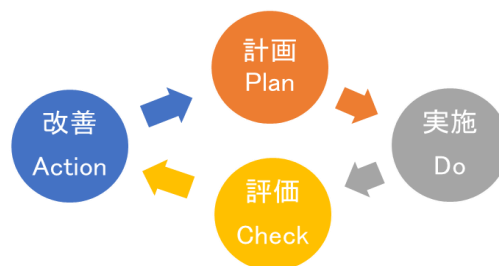
## 6 戦略の推進は市民と行政が一緒になって進めます

### (1) 計画の進み具合をしっかりと管理します

本戦略の期間は、平成 27 年度から平成 31 年度までの5年間であり、今後は、目標年度である平成 31 年度までの間、設定した目標指標(KPI)を踏まえ、毎年度PDCAサイクルによる進行管理を行っていきます。

今後は平成 28 年度に見直しを行う第5次犬山市総合計画との一体的な推進、国及び愛知県の総合戦略等との整合を図りながら、広域的な連携という視点なども考慮し進めます。

加えて、各種統計情報などによる経済分析、平成 27 年度に実施された国勢調査の結果なども踏まえ、状況を常に把握しながら必要に応じて的確に見直しを図っていきます。



### (2) 行政だけではできません。みなさんと一緒に取り組みます

本戦略に位置付けた基本目標や事業の推進にあたっては、戦略策定段階から関わり、議論し、考えてくださった市民・企業・団体などの多様な主体と行政が一丸となって取り組みます。

戦略の推進は、行政だけでは決して成し遂げられません。連携が必須です。市民の誰にも居場所と出番があり、参加しやすく活躍できるような場と機会をつくり、応援し、一緒にまちづくりを進めます！



### (3) 推進のため財源確保に努めます

本戦略に位置付けた施策・事業の推進にあたっては、地方創生交付金を始めとした国の支援制度を積極的に活用していきます。また、重点事業の実施によって地域経済の好循環を生み出し、財源の確保を図ります。また、事業推進においては、総合計画に基づき設定する実施計画に位置付け、予算措置を講じるものとします。

## 7 計画策定の周知

本計画の策定過程において、この取り組みや、総合戦略の内容を知っていただき、さらに、まちづくりに参画していただける方が増えることを願って、様々な形での周知活動を行ってきました。策定後も下記の手法を中心に戦略の周知に努めます。

### かわら版の作成

総合戦略策定に関する取り組み内容と進捗の状況を、紙によるかわら版(フリーペーパー)形式で発行しお届けしました。

8月からスタートし、月1回のペースで発行。活気に満ちた議論や市民のみなさんへのインタビューなど、盛りだくさんな内容としました。レイアウトも熱気あふれる様子をにぎやかに表現しました。

市役所などの公共施設を始め、犬山駅連絡通路の掲示板にも貼り出すなど、周知に努めました。



かわら版 A3サイズ

### 広報いぬやま

市からの情報をお知らせする方法として、広報いぬやまはとても大切です。月1回、特集記事を連載し、策定の様子を発信してきました。

内容は、外部検討組織である「いいね！いぬやま総合戦略推進会議」での白熱した議論の様子や、子育て中のママさん達に行った訪問型アプローチ(30頁参照)でのグループインタビュー、そして犬山の未来を考え隊(29頁参照)の活動などを中心にお伝えしました。



広報いぬやま(掲載は主に15日号)

## WEB サイトの活用

■ 総合戦略策定の取り組みの経過や状況を知っていただくために、WEBでの展開も大切だと考えました。

市ホームページでの発信のほかに、今回はSNS(ソーシャルネットワークサービス)での情報拡散を試みました。

SNSサイトのフェイスブックに専用ページを開設。題して「みんなでつくろう！いぬやま総合戦略」といいます！

内容は、策定に関わる推進会議の様子を始め、特に犬山の未来を考え隊が実施した訪問型アプローチでのグループインタビューの記事を充実させました。

写真をふんだんに掲載して楽しくも充実したインタビューの様子をお伝えすることに努めました。参画していただいたみなさん一人ひとりの「犬山に対する」真剣な想いを感じることができました。

また、「犬山の未来を考え隊」のワーキンググループの様子なども毎回お伝えしました。

そのほか、パブリックコメントの場として設定するなど、情報発信の重要なツールとして使用することができました。

SNSは今後、市がすすめる「シティプロモーション」の有効な手法として、積極展開していきます。



みんなでつくろう！いぬやま総合戦略トップページ。犬山の未来を考え隊での議論の様子を掲載しました。



訪問型アプローチの様子もたくさん掲載させていただきました。写真を多く用い、インタビューの臨場感と様々な貴重な意見や提案を紹介させていただきました！

(写真は子ども未来園で保護者のみなさんに対し行ったグループインタビューの様子)



# 用語解説

本文中に記載される、専門性の高い用語等について、下記に概説します。

※ [ ] 内の数字は掲載ページ

## 【あ～お】

**アプローチ** ..... [ 2、3、10、29、30、33、34 ]

・近づくこと。接近。対象とするものに迫ること。また、その方法。

**インバウンド** ..... [ 3、6 ]

・外国人旅行者を自国へ誘致すること。我が国では、海外から日本へ来る観光客を指すことが多い。

**WEB(ウェブ)サイト** ..... [ 34 ]

・インターネット上のサービスのひとつであるWWW(ワールド・ワイド・ウェブ)を用いて提供される一連の情報の集合体。

## 【か～き】

**(ガバメント)クラウドファンディング** ..... [ 10、24、28 ]

・不特定多数の人が通常インターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うことを指す。群衆(crowd)と資金調達(funding)を組み合わせた造語。政府(自治体)が行うものをガバメントクラウドファンディングと呼ぶ。

**経済センサス** ..... [ 4 ]

・統計法(平成19年5月23日法律第53号)で基幹統計として定められている「経済構造統計」を得るための調査。

**KPI(ケー・ピー・アイ)** ..... [ 11、17、23、32 ]

・重要業績評価指標 Key Performance Indicators の略。目標の達成度合いを計る定量的な指標のこと。

**国立社会保障人口問題研究所** ..... [ 5 ]

・厚生労働省の施設等機関。1939年(昭和14年)に厚生省人口問題研究所として設立され、1996年(平成8年)12月に、特殊法人社会保障研究所との統合によって設立された。

**合計特殊出生率** ..... [ 5、11 ]

・人口統計上の指標で、一人の女性が一生に産む子どもとの平均数を示す。女性の出産可能年齢を15歳から49歳までとし、各歳の出生率を算出して足し合わせ、一人の女性が一生に産む子どもの数の平均を求める。

**交流人口（滞在人口） .....〔6、7〕**

- ・その地域に訪れる（交流する）人のこと。主に通勤・通学、買い物、文化鑑賞・創造、学習、習い事、スポーツ、観光、レジャーなどの事由があてはまる。

**コーディネーター .....〔24〕**

- ・ものごとの調整にあたる人、調整役。

**国勢調査 .....〔4、5、32〕**

- ・わが国の人口及び、その性別や年齢、配偶の関係、就業の状態や世帯の構成といった「人口及び世帯」に関する各種属性のデータを把握するため、5年間隔で実施する全数調査のこと。

**【さ～そ】**

**産・学・金・労・言 .....〔2〕**

- ・国のまち・ひと・しご創生法に基づき策定する地方版人口ビジョン及び総合戦略の検討にあたって、多様な分野、立場の方の意見を聞くように求められている対象。概して「産：経済界」、「学：大学等の高等教育機関」、「金：金融機関」、「労：労働組合」、「言：報道機関(メディア)」とされている。

**シティプロモーション .....〔6、10、23、25、28、34〕**

- ・自治体等の単位で行う宣伝活動などを中心にした、当該地域の知名度の向上や観光誘客にかかる取り組みのこと。

**ステータス .....〔3〕**

- ・社会的地位や身分またはそれを表すもの。

**ソーシャルネットワークサービス (SNS) .....〔34〕**

- ・インターネット上の交流を通して社会的ネットワークを構築するサービス。

**【た～と】**

**地域ブランド .....〔10、17、18〕**

- ・地域を主に経済的な側面から捉える際の、人々が意識する様々な地域イメージの総体。特産品、観光資源など実体のあるものばかりではなく、イメージを連想させる地名や地形その他無形の資産とすることもある。

**データベース .....〔15〕**

- ・特定のテーマに沿ったデータを集めて管理し、容易に検索・抽出などの再利用をできるようにしたもの。

**D I D (ディー・アイ・ディー)：人口集中地区 .....〔4〕**

- ・国勢調査で設定される統計上の地区。Densely Inhabited District を略して「DID」とも呼ばれる。市区町村の区域内で人口密度が4,000人/km<sup>2</sup>以上の基本単位区（平成2年（1990年）以前は調査区）が互いに隣接して人口が5,000人以上となる地区に設定される。

**都市ブランド** ..... [9、11]

- ・(P36「地域ブランド」参照)

**【な～の】**

**年少人口** ..... [4]

- ・(国や自治体の) 総人口に占める0歳から14歳までの人口。

**【は～ほ】**

**パブリックコメント** ..... [34]

- ・公的な機関が規則などを定める前に、その影響が及ぶ対象者などの意見を事前に聴取し、その結果を反映させること。

**パイロットプロジェクト** ..... [20、27]

- ・試験的にある限定的な条件で行われる調査研究や取り組みのこと。

**ピーク** ..... [1、4、6]

- ・物事の程度の最高の時。最高潮。

**P D C A (ピー・ディー・シー・エー)** ..... [32]

- ・業務実行の管理手法の一つで、計画 (plan) → 実行 (do) → 評価 (check) → 改善 (act) という4段階の活動を繰り返し行うことで、継続的にプロセスを改善していく手法のこと。

**P R (ピー・アール)** ..... [3、18、24、27、30]

- ・広告、宣伝活動。官庁・団体・企業などが、みずからの望ましいイメージや、施策・事業の内容・主義主張などについて周知し理解や協力を求める活動を指す。

**プレ体験** ..... [13]

- ・以前の、前の意。ある教育機関などに所属する以前に、簡易的な体験 (試行) ができるような枠組み。

**【や～よ】**

**U I J (ユー・アイ・ジェイ) ターン** ..... [9、11、15]

- ・大都市圏の居住者が地方に移住する動きのこと。Uターンは出身地に戻ることに、Iターンは出身地以外の地方へ移住すること、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住することを指す。

**【ら～ろ】**

**リニューアル** ..... [12、25、28]

- ・新しくすること。新しいものに変えること。



## リーディングプロジェクト ..... [19]

- ・ある計画等を進めるうえで中心的、先導的な役割を果たすプロジェクト（取り組み）のこと。

## 【わ〜】

## ワンストップ ..... [18、27]

- ・行政上の一連の手続きを1回の手続きで、あるいは1箇所の窓口で完了させることができるような行政サービスのこと。

## ワークショップ ..... [2、20、21、29、30]

- ・参加者が自発的に作業や発言を行える環境が整った場において、司会進行役を中心に、参加者が一方的に話しを聞くのではなく、参加者自身が討論に加わったり、体を使って体験したりするなどする会議形態の一種。

## ワーキンググループ ..... [2、29、34]

- ・特定の問題の調査や計画の推進のため設けられた部会。

## ワールドカフェ ..... [31]

- ・知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる「カフェ」のような空間でこそ創発されるという考えに基づいた、話し合いの手法。



# “私が取り組む総合戦略”

## この冊子を手にとってくださった方へ

犬山市総合戦略を手にとっていただき、ありがとうございました。ここに書かれている内容は、学生、子育て世代、企業、高齢者など、たくさんの方たちの意見や提案をもとに作られました。平成31年度までの間、この戦略を持って活気あふれる犬山市となるよう、「人口減少」と「経済の縮小」という極めて厳しい課題に立ち向かいます。

しかしもう一つ、大切なことがあります。・・・それは市民の皆さん一人ひとりが少しでも犬山が良くなるよう、一緒に考え、行動していただくことです。

この冊子に書かれていることのどこかに参加したり、あるいは新たにご自身で活動を始めたり・・・関わりのカタチはさまざまです。どんな小さな事でも構いません。「素晴らしい犬山市の未来」のために、楽しみながら、でも真剣に一緒に取り組んでみませんか？

## いいね！いぬやま総合戦略

平成28年3月

犬山市経営部企画広報課(4月からはこちら)

※機構改革により部課名変更

(犬山市企画財政部秘書企画課(3月まで))

[お問合せ 0568-44-0312]

FAX 0568-44-0360

メールアドレス 010100@city.inuyama.lg.jp